

2026 年 9 月 11 日

報道機関 各位

文部科学省「情報ひろば」で広報企画展示を開催 長崎大学の昭和 100 年 – 感染症と“知の備え” –

長崎大学は、文部科学省が運営する展示・イベントスペース「情報ひろば*」で、2026 年 9 月 11 日から 10 月 20 日まで、広報企画展示「長崎大学の昭和 100 年 – 感染症と“知の備え” –」を開催します。本展示では、本学が長年にわたり培ってきた感染症研究の歩みを振り返るとともに、次のパンデミックに備えた現在の取り組みを紹介します。

長崎大学の感染症研究は、長崎における蘭学・西洋医学の伝統を背景として発展し、戦前・戦後の風土病対策、リンパ系フィラリア症の制圧、さらには海外での感染症研究・国際協力へと活動の幅を広げてきました。

本展示では、昭和元年（1926 年）から 100 年を迎える令和 8 年（2026 年）を機に、「長崎大学の昭和 100 年」と題し、長崎大学の前身校から受け継がれてきた感染症研究の歴史を振り返ります。また、国内におけるリンパ系フィラリア症制圧の成果や国際共同研究の歩みを通じて、長崎で培われた感染症対策の知見が国内外に展開されてきた軌跡を紹介します。

また、近年の新興・再興感染症への対応として、高度感染症研究センターにおける BSL-4 施設の整備や感染症研究の最前線についても紹介します。過去の経験から得られた「知」を次世代へ継承し、次のパンデミックに備える長崎大学の取り組みを発信するとともに、感染症への備えの重要性について広く社会に問いかけます。

会場では、感染症研究の歴史や研究成果を紹介するパネル展示に加え、関連映像を QR コードからご覧いただけます。

本展示の周知にご協力いただくとともに、会期中の取材につきましても、よろしくお願いいたします。

【展示概要】

展 示 名 称：長崎大学の昭和 100 年 – 感染症と“知の備え” –

期 間：2026 年 9 月 11 日（金）～10 月 20 日（火）

場 所：文部科学省 東館 2 階エントランス（東京都千代田区霞が関 3-2-2）

主な展示物：

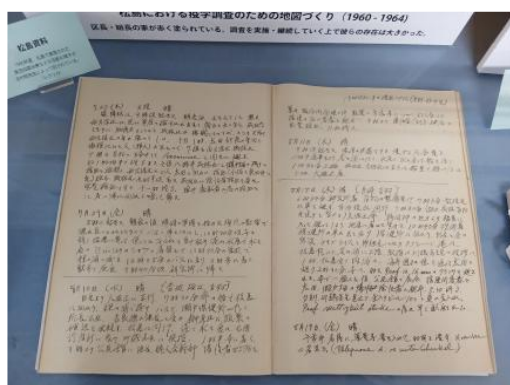
- 本テーマについての解説パネル
- バンクロフト糸状虫成虫液浸標本
- メランジュール（採血器具）
- 松島資料調査記録
- 陽圧防護服



バンクロフト糸状虫成虫液浸標本



メランジュール（採血器具）



松島資料調査記録



陽圧防護服

* 文部科学省情報ひろば

文部科学行政や教育・科学技術に関する取り組みを紹介する展示・イベントスペース。
大学や研究機関などによる企画展示も行われている。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 研究推進部 感染症研究支援企画課

T E L : 095-819-7803 E-mail : idr-soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp